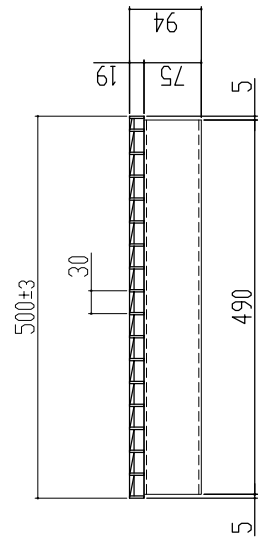
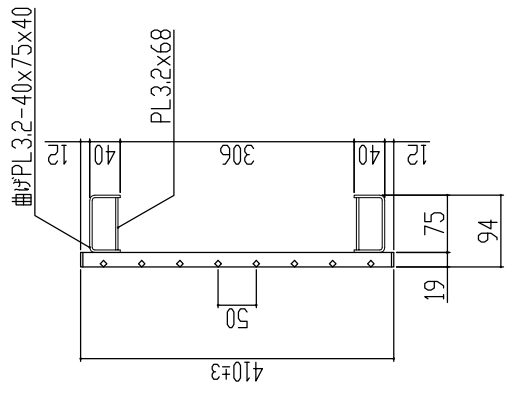


⇄ 車輛進行方向 (側溝) ⇄



本体重量 10.1kg

主部材詳細図 表面処理 本体は溶融亜鉛メッキ仕上げ (JIS H8641)

訂正年月日 標製作図面 訂正年月日 訂正年月日 訂正年月日	検査 山口	承認印 平元	承認印 松本	製図 松本	図面名称 かさ上げJIS道路側溝用 (スチール) グレーチング 溝幅300用 並目ノズリップ 歩道用 NJK95-193N-3H	図番 MKG-N-228-2
	訂正者 山口	承認印 平元	承認印 松本	製図 松本	図面名称 溝幅300用 並目ノズリップ	図番 MKG-N-228-2
	訂正事項 訂正年月日 訂正年月日 訂正年月日	承認印 平元	承認印 松本	製図 松本	図面名称 溝幅300用 並目ノズリップ	図番 MKG-N-228-2
	訂正番号 訂正年月日 訂正年月日 訂正年月日	承認印 平元	承認印 松本	製図 松本	図面名称 溝幅300用 並目ノズリップ	図番 MKG-N-228-2



株式会社 マキテック
MK駐輪事業部

グレーチング強度計算書



1 仕 様	品名	NJK95-193N-3H
	製品寸法	410x500x19+75
	主部材	FB - 3 × 19

2 設 計 条 件	支点間距離	L= 306	許容たわみ量	$\delta b = L/500 = 0.612$
	主部材ピッチ	O= 30 mm	ヤング係数	E = 2100000 N/mm ²
	断面二次モーメント	I= 0.171 cm ⁴ = 1714.75 mm ⁴		

3 強 度 計 算	1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: ω (N/mm)を求める。 $\omega = \text{設計強度} \times \text{ピッチ} \quad \text{より}$ $\omega = 0.005 \times 30$ $\omega = 0.15 \text{ (N/mm)}$
	2. ベアリングバーの最大たわみ: δ (mm)を求める。 $\delta = 5 \times \omega \times L^4 / 384 \times E \times I \quad \text{より}$ $\delta = 5 \times 0.15 \times 8767700496 / 384 \times 2100000 \times 1714.75$ $\delta = \underline{0.004755 \text{ (N}\cdot\text{mm)}} \leq 0.61 \quad \text{(許容たわみ量)}$

4 総 括	上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。
-------------	--